



未来に伝える 北潟湖の自然

～身近に、気軽に取り組む自然再生のノウハウ～



北潟湖自然再生協議会

目次

はじめに	2
Vol.01 チョウが集まるバタフライガーデンをつくろう！	3
Vol.02 庭や校庭でトンボが呼べるコンテナビオトープを作ろう	5
Vol.03 自宅で野鳥を呼べる野鳥がやってくる環境を作ろう！	7
Vol.04 “水あり田んぼ”を育もう！	9
・赤とんぼ編	
・メダカ編	
・中干し延期編	
・水張り田んぼ（秋冬）編	
・水張り田んぼ（夏）編	

今後も、各種テーマを追加する予定です。
皆様の記事もお寄せ下さい！



はじめに



北潟湖自然再生協議会では、～北潟湖の恵みを再発見し、未来に遺そう～を主テーマに、5つの活動方針と17の目標を定め、対象区域で様々な活動を行っています（北潟湖自然再生全体計画 HP 参照）。

皆さんが生活している場所や、自然の恵みと自然に働き掛けることにより成り立っている農林水産業が行われている場所（湖、河川、溜池、湿地、水田、畑、山林）、居住地域の公園、勤務場所などで、身近な自然に働きかけることにより、北潟湖の自然再生に繋げていくことも重要な活動だと考えています。

様々なとり組みの方法はあると思いますが、ここでは、昆虫や野鳥などの生き物が、多様な自然の中で多様な命を繋いでいる生物を中心に紹介してあります。

多くの皆さんの参加をお願いします。命とふれあう大切さを体験して欲しいと思います。

北潟湖自然再生協議会 水と生きもの再生部会

部会長 組頭 五十夫

バタフライガーデンをつくろう！

チョウの好む花や幼虫の餌となる食草・食樹を植えて、家の庭や畑、学校の中庭、運動場の隅などで、蝶を呼んでみましょう。蝶の他にも多種多様な昆虫を同時に観察できます。

準備物	● プランター	● 植栽用の花・樹木
	● レンガ	● 培養土
	● 土（田んぼ、畑など）	● スコップ



※準備物は参考です。各自、工夫しましょう。



Step1. 花や食草・食樹を準備

- ホームセンターや園芸店などで種やポット苗、鉢植えを購入します。
 - ✓ 特に決まりはありませんが多種多様な色・高さ・花期の植物を植えるのがポイントです。



Step2. 植物を植える場所を準備

- プランターに土を入れたり、レンガなどで囲って花や食草・食樹を植える場所の準備をします。
 - ✓ 植えるものにあわせて必要な面積を確保しましょう。
 - ✓ 蝶の多くは日当たりの良い場所を好む種が多いので、明るい場所を選びましょう。



Step3. 花や食草・食樹を植えこむ

- 準備した土に花や樹木を植栽します。
 - ✓ 単一の種類よりは多種多様なものを植えると色々な蝶がやってくるようになります。
 - ✓ 植えた花や食草・食樹には適宜肥料を追加したり毎日水やりするなどして、枯らさないようにきちんと管理しましょう。

◆ごく身近で見られるチョウとその食草



(撮影:見澤 啓子)

ナミアゲハ

幼虫はミカンやユズなどのミカン科植物を食べます。



(撮影:見澤 啓子)

キアゲハ

幼虫はニンジンやミツバなどのセリ科植物を食べます。



(撮影:見澤 啓子)

ヒメアカタテハ

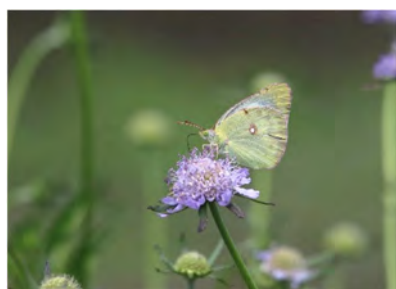
幼虫はヨモギ(キク科)やカラムシ(イラクサ科)を食べます。



(撮影:見澤 啓子)

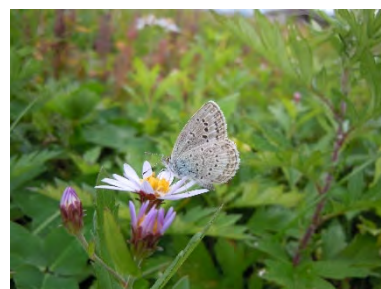
ツマグロヒョウモン

幼虫はスミレやパンジーなどのスミレ科植物を食べます。



モンキチョウ

幼虫はシロツメクサなどのマメ科植物を食べます。



ヤマトシジミ

幼虫はカタバミ(カタバミ科)を食べます。

◆蝶の好む花・餌となる食草・植樹

下記はバタフライガーデンに使用される園芸植物で、大概是ホームセンターで購入可能です。

※気候や土壌条件にあったものを選択する必要があります。

【蜜源となる花】

ランタナ、ペンタス、フジバカマ、バーベナ、ブッドレア、アベリア、ルドベキア、エキナセア、ヒャクニチソウ、マリーゴールド、アニスヒソップ、ガマズミ、ライラック、コトネアスター、ユキヤナギ、クチナシ、シモツケ、ハギ、ラベンダー、スミレ、ピオラ、プリムラ、ワスレナグサ、モナルダ、タチアオイ、ナスタチウム、スイートピー、ヤマユリ、アザミ、ペンステモン、コスモス、ブルーサルビア、ナデシコ、デルフィニウム、アスター、エキノブス、オレガノ

【食草・植樹】

ニンジン・セリ(キアゲハ)、ウマノスズクサ(ジャコウアゲハ)、カラムシ(アカタテハ・ヒメアカタテハ)、スミレ・パンジー(ツマグロヒョウモン)、カタバミ(ヤマトシジミ)、ギシギシ(ベニシジミ)、アブラナ科植物(モンシロチョウ)、シロツメクサ(モンキチョウ)、フジ(ウラギンシジミ)、ミカン・ユズ・サンショウなどのミカン科(アゲハ類)

庭や校庭でトンボが呼べる

Vol.02

コンテナビオトープを作ろう！

コンテナなどの容器をつかって、家の庭や学校の中庭や運動場の隅などで、小さな水辺をつくってトンボを呼んでみましょう。小さな水辺でもトンボが繁殖し、羽化を観察することもできます。

準備物	● コンテナ（大・小）	● プランター
	● 土（田んぼ、畑など）	● 田んぼの雑草
	● レンガ	

※準備物は参考です。各自、工夫しましょう。



Step1.コンテナを準備

- コンテナを準備します。
 - ✓ 水を 10～30 cm くらい張れるコンテナがよいでしょう。
 - ✓ 衣装ケースやバケツなどでも大丈夫です。



Step 2 .容器を配置

- 大きなコンテナの中に小さなコンテナやプランターなどを配置します。
- レンガを使って、高さを変えておきます。
 - ✓ 水深が違えることで、生える植物の種類が変わり、いろんな水生昆虫がやってきます。



Step 2 .土、植物をセット

- 小さなコンテナやプランターの中に土を入れます。
- 田んぼなどで取ってきた雑草を植え込みます。
 - ✓ 田んぼや畑から土を取る場合には、持ち主の了解を得ましょう。



Step 2 .水を入れて完成！

- 水をたっぷりと入れます。
- そのまま置いておき、やってくる生きものを観察します。
 - ✓ 水がなくならないよう補給してください。
 - ✓ 自動給水など楽しみながら工夫しましょう。

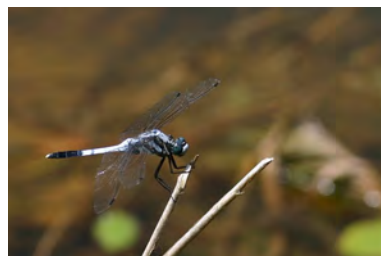
◆ 身近で見られるトンボたち



アオモンイトトンボ
イトトンボの一種。腹部の先端が青くなる特徴。



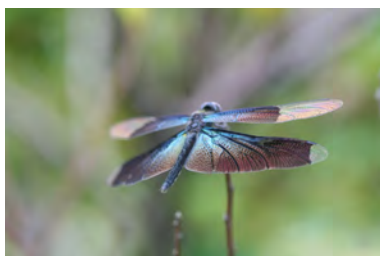
ショウジョウトンボ
全身が真っ赤なトンボ。赤とんぼよりひとまわり大きい。



シオカラトンボ
春から夏にかけて身近な水辺でごくふつうにみられるトンボ。



シオカラトンボ（メス）
メスはトラ模様になり、ムギワラトンボと呼ばれることも。



チョウトンボ
翅の幅が広く、ひらひらと蝶のように飛ぶ姿が特徴。



アキアカネ
赤とんぼの一種。胸の模様でいくつかの種類から見分ける。

◆ ヤゴ図鑑（コンテナビオトープでよく見かけるヤゴたち）



ギンヤンマ
開けた水辺を好むが、小さなコンテナに産卵に来ることも。

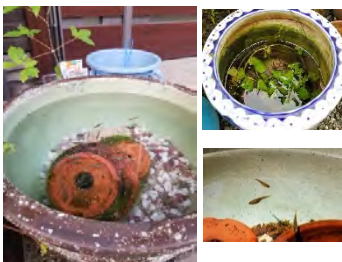


シオカラトンボ
全身が毛に被われるのが特徴。泥を被ると見つけにくくなる。



ウスバキトンボ
毎年熱帯地域から飛来するトンボで、ヤゴは越冬できない。

§ もっと小さなビオトープ（水鉢編）



コンテナを置くスペースが無い、という場合は、「水鉢」でも生きものの飛来を楽しむことができます。玄関先や庭の片隅に置くだけで、夏は涼しい雰囲気ができます。

写真のような小さな水鉢でも、水を入れて水草を浮かべるだけで、トンボやカエルが産卵に来たりします。水鉢は、ホームセンターで手軽に調達できます。

自宅で野鳥を呼べる

Vol.03

野鳥がやってくる環境を作ろう！

自宅が位置する周辺の環境により、やってくる野鳥の種類もかなり違ってきます。ここでは、自宅の庭などを少し工夫することで、野鳥たちがやってくる環境を作り出す方法を紹介します。

準備	① 庇や車庫など	② 植樹や鉢植え
	③ 餌台	④ バードフィーダー
	⑤ バードバス	



※準備物は参考です。各自、工夫しましょう。



① ツバメの子育て応援（夏期）

- ✓ 車庫の場合シャッターを開けておき、ツバメが巣を作り始めたら巣が落ちないように見守ります。
- ✓ 雛をスズメ、カラス、ヘビ、ネコから守ります。2年目からは特に注意が必要です。
- ✓ 「フン害」から人環境を守る工夫が必要です。
- ✓ 条件が良いと2回繁殖します。
- ✓ 問題に対応した詳しい方法はwebで検索



② 餌となる実のなる木を植樹や鉢植え

- 小さい庭では、周りの環境も考えて植樹します。
- 高木になる樹木は避け、低木を植樹します。カキ、クロガネモチ、ムラサキシキブ、ナンテンなど手に入るものがよいです。
- 場所がない場合は、「鉢植え」を置きます。
- ✓ マンションの場合は、周囲に配慮が必要です。



③ 餌台やバードフィーダーを設置する

- 市販製品もありますが自作も楽しいです。
- 自動給水も便利です。（飲んだ分だけ補給）
- 開けた場所に設置すると良いです。
- ✓ ネコなどが届かない1m以上の高さが必要です。
- ✓ 給餌は、木の実や種子で冬期限定にしよう。



④ 水浴や休憩する場所もあるとよいです！

- 周りより少し高い木が 1 本あるとよいです。
- バスは、ある物を工夫して作るのも楽しいです。
利用しやすいように水深には変化をつけます。
- 置く場所は、見通しが良い場所がよいです。
- ✓ 自動給水も工夫してください。

◆ 庭でよく見られる野鳥たち



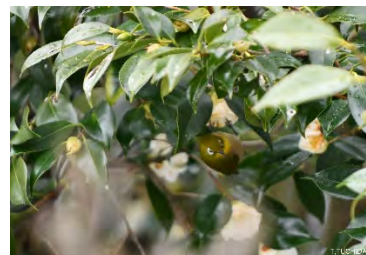
スズメ若鳥集団

年中見ることができ、秋には、人家などで繁殖した若鳥は、群れで暖地へ移動します。（休憩）



ツグミ

県鳥ツグミ。木の実や昆虫類の幼虫やミミズなどを食べ餌台にもよく来る。（採食）



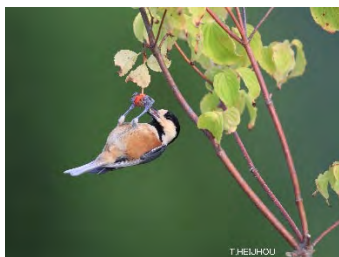
メジロ

ヒヨドリと同じで、花の蜜や木の実が大好き。ツバキにもよく来る。花粉を運ぶ鳥。（吸蜜）



ジョウビタキ（♂）

雄は色彩が鮮やか。地上で昆虫やクモ類を食べるが、草木の実も食べる。（採食）



ヤマガラ

昆虫やクモ類、草木の実などを食べる。餌台ではひまわりの種などが人気。（採食）



ムクドリ

秋～冬には、市街地の街路樹に集団ねぐらを取り、フン害が発生している。（採食）

◆ 鳥たちが棲む環境の変化を知ろう。

食：人の生活様式や農業の変化などにより、鳥たちに「餌」を供給している多様な環境（溜池、湿地、水辺、耕作地、里山）などが減少している。

住：人の近くで生息しているツバメやスズメは、家屋が省エネの構造のため、巣を作るための「隙間」や適切な場所が減少している。餌や営巣場所の減少はこどもの数を減少させている。

鳥害：近年まで郊外に「ねぐら」をとっていたカラスやムクドリは、安全で暖かい市街地などにねぐらをとるようになり、市街地での被害（騒音、糞）が増えている。
また、農耕地でも農作物の被害が増えている。

水あり田んぼを育もう！

田んぼは、お米を収穫する農地であるとともに、多様な水辺の生きものの生息空間です。しかし、作業効率化を優先してきた現在の田んぼは、かつてと比べて生きものの姿は減りました。でも、少しの工夫で、美味しいお米を収穫しながら生きものたくさんの田んぼがよみがえります！

準備物

- 田んぼ
- 水



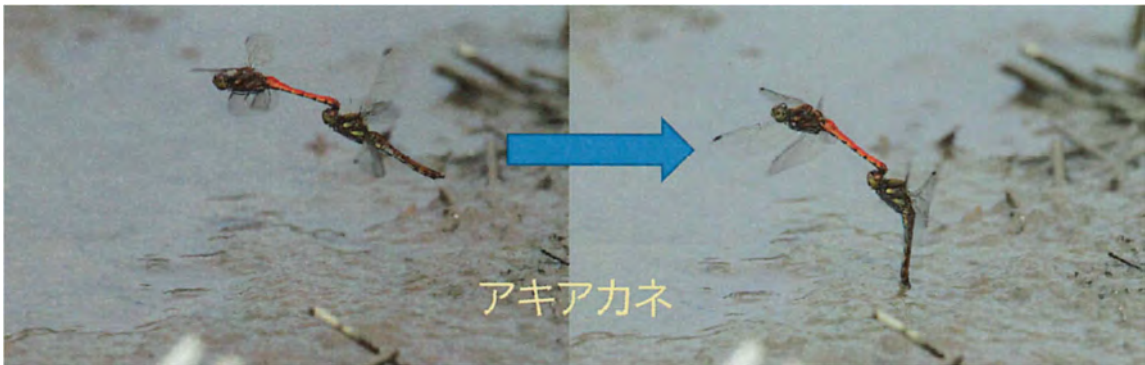
	赤とんぼ編 稲刈り後～冬にかけて、 こんなふうに所どころに水たまり田んぼにすると…。 ☞ 続きは、赤とんぼ編へ。
	メダカ編 一年中、田んぼのどこかに、 水たまりがある田んぼにすると…。 ☞ 続きは、メダカ編へ。
	中干し延期編 中干しの時期を、 7月初旬まで延期すると…。 ☞ 続きは、中干延期編へ。
	水張り田んぼ（秋冬）編 人も水鳥も喜び、 にぎわいを再生するために…。 ☞ 続きは、水張田んぼ（秋冬）編へ。
	水張り田んぼ（夏）編 水辺の生き物を育む ゆりかごにするために…。 ☞ 続きは、水張田んぼ（夏）編へ。

赤とんぼ編



稲刈り後～冬にかけて、こんなふうに、所どころを水たまり田んぼにすると…。

9月下旬から10月には赤とんぼの産卵場所になります。



オスとメスが連結し、メスの腹の先を泥に打ちつけて産卵

◆北潟湖周辺の秋の田んぼで産卵する赤とんぼ図鑑



アキアカネ

アキアカネ



ナツアカネ

ナツアカネ



コノシメトンボ

コノシメトンボ



ノシメトンボ

ノシメトンボ

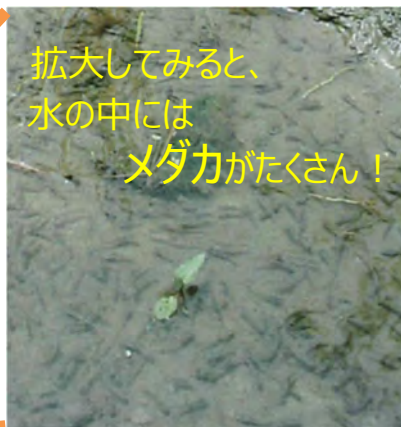
識別ポイント

- アキアカネの体は赤黒い
- ナツアカネの体は鮮やかな赤
- コノシメトンボとノシメトンボには、翅の先に黒い紋がある
- コノシメトンボ♂の体は鮮やかな赤
- ノシメトンボ♂の体は赤黒い

メダカ編



一年中、田んぼのどこかに水たまりがある田んぼにすると…。



拡大してみると、
水の中には
メダカがたくさん！

浅い水たまりでも、一年中水があることで
メダカたちが住むことができます。

◆こんな“メダカの学校田”を見つけました



田んぼのまわりの土水路



“ぬるめ”などと呼ばれる、水を温めるための水路



タニシもいます

メダカのほかにたくさんの生きものが住むようになります



中干し延期編

6 月の中干し田んぼではこんな悲劇が起こります！



干上がるオタマジャクシとドジョウの稚魚

中干しの時期を 7 月初旬まで
延期し、オタマジャクシがカエ
ルになるのを助けると…

カメムシなどの害虫を
食べるカエルが増えます

中干しで干上がるドジョウの稚
魚を助けると…

コウノトリなどの
野鳥の餌になります

カエルの種類	上陸する時期
アカガエル類	5 月下旬～6 月
シュレーゲルアオガエル トノサマガエル ダルマガエル	6 月下旬～7 月上旬

水田の自然再生マニュアル（福井県自然環境課, 2012）より引用

中干し開始は
7 月上旬から

水張り田んぼ（秋冬）編

◆水張り田んぼ見られる水鳥たち

人も水鳥も喜ぶ
にぎわいを再生

ポイント

ふゆみずたんぼと二番穂
田んぼをセットで用意



蓮ヶ浦の田んぼで餌を探すカモたち



ふゆみずたんぼに集まるコハクチョウ



二番穂田で餌を食べるコハクチョウ

◆コウノトリ「えっちゃん」



コウノトリ「えっちゃん」が好んで採餌した
湛水休耕田（若狭町）



コウノトリ「えっちゃん」が採餌していた
田んぼ

どちらも水があるので
ドジョウが生息！

水張り田んぼ（夏）編

◆各地の湛水休耕田



湛水休耕田に集まったサギ類
（若狭町向笠）



カエルの格好のすみ家となる湛水休耕田と草原
（小浜市高塚）



多くの生き物を育む谷合いの湛水休耕田
（越前市中津原町）



多くの生き物を育む谷合いの湛水休耕田
（越前市上黒川町）

◆田んぼの小さな自然再生のポイント

- 田んぼのどこかに 1 年中水がある場所を作る。
 - 休耕田に水を張る。
- ☞ 水辺の生き物を育むゆりかごになる。

田んぼという自然で
共に寄り添って奇跡の命
をつなぐために人間が
できる思いやりを。



みんなが水辺を
待っています！



未来に伝える北潟湖の自然
～ 身近に、気軽に取り組む自然再生のノウハウ ～

発行 令和4（2022）年3月

[連絡] 北潟湖自然再生協議会事務局
あわら市市民生活部生活環境課環境グループ
〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号
電 話：0776-73-1221(代表)

ファックス：0776-73-1350

北潟湖自然再生協議会ホームページ
<http://www.city.awara.lg.jp/mokuteki/life/life03/life0301/p009388.html>

